

2014年度の事業結果

1 企画展・特別展

- (1) 八ヶ岳山麓のこて絵 4/12～6/15 観覧者数 2,552人
芦田吉美氏が精力的に撮影した諏訪地方の蔵の「こて絵」の写真を約80点と実物5点展示
- (2) 北八ヶ岳のコケ 7/26～9/28 観覧者数 2,505人
コケ（蘚苔類）とは何か、八ヶ岳山麓のコケを写真で紹介
- (3) 九頭井太夫家文書の世界 8/9～10/13 観覧者数 2,288人
九頭井太夫家から寄贈された古文書等の貴重な資料を展示
- (4) 研究創意工夫展 11/1～11/30 観覧者数 1,319人
市内小中学生の自由研究、工作、絵画の展示会
- (5) 博物館活動発表展 2/28～3/22 観覧者数 695人
博物館で活動している市民グループの活動報告展

<ワークショップ>

- (1) 5月31日（土）八ヶ岳山麓のこて絵 講師 矢沢将利 下平 悟 参加者20名
20cm四方のこて絵を漆喰を使って実際に描く
- (2) 8月17日（日）北八ヶ岳のコケ 講師 茨城県自然博物館 鷗沢美穂子 参加者20名
コケのテラリウム作り

<ギャラリートーク>企画展の展示解説

- (1) 8月16日（土）九頭井太夫家文書の世界 講師 柳川英司 参加者12名
- (2) 9月27日（土）九頭井太夫家文書の世界 講師 柳川英司 参加者2名

2 講演会

- (1) 4月26日（日）「市民参加 平塚市博物館の例」 講師 平塚市博物館長 澤村泰彦
参加者24名 平塚市博物館館長 長澤村氏より平塚市博物館の市民参加の具体例を紹介
- (2) 5月25日（日）「つなぐ（ものをつなぐ 人をつなぐ）」 講師 岡野勇二
参加者17名 学習し蓄えた力を発揮するには、どのように伝えればよいかについて
- (3) 8月3日（日）「コケの世界」 講師 国立科学博物館 樋口正信
参加者42名 コケ植物の体のつくり、生活史を北八ヶ岳のコケで
- (4) 9月28日（日）「仮面の女神の見た星空」 講師 館職員 若宮崇令
参加者25名 5000年前歳差運動により南十字星が茅野で見えた
- (5) 10月4日（土）「江戸時代の農村文書」 講師 東京外国後大学教授 吉田ゆり子
参加者25名 古文書からわかる社会の仕組みと庶民の暮らし
- (6) 10月5日（日）「諏訪湖の生態系」 講師 信州大学 君島 祥
参加者13名 諏訪湖のミジンコから見える自然の仕組み
- (7) 10月26日（日）「野鳥学習会」 講師 日本野鳥の会 両角英晴
参加者4名 展示ジオラマ、収蔵剥製を見ながら野鳥の学習
- (8) 11月22日（土）「植物の形態について」 講師 諏訪教育会 岩波 均

- 参加者 17 名 植物の体、花、果実のつくりについて
- (9) 12月6日(土) 「植物の生態について」 講師 植物研究家 名取 陽
参加者 13 名 熱帯アジア、アフリカの植物生態系と八ヶ岳の比較
- (10) 2月14日(土) 「八ヶ岳の植物相」 講師 諏訪教育会 白鳥保美
参加者 24 名 今までの調査結果からみた八ヶ岳山麓の植物について
- (11) 3月29日(日) 幻の流星群を追う 講師 かわさき宙と緑の科学館 佐藤幹哉
参加者 16 名 ダストチューブ理論で計算する流星群の出現予測

3 自然観察会

- (1) 4月13日(日) 探鳥会(運動公園) 講師 日本野鳥の会 両角英晴 参加者 9 名
- (2) 5月3日(土) 探鳥会(竜神池周辺) 講師 日本野鳥の会 両角英晴 参加者 14 名
- (3) 5月10日(日) スミレ観察 講師 諏訪教育会 武居三男 参加者 24 名
- (4) 7月19日(土) 霧ヶ峰の自然観察 諏訪教育会 参加者 60 名
- (5) 7月26日(日) 霧ヶ峰の自然観察 諏訪教育会 岩波 均 参加者 4 名
- (6) 8月1日(金) ツバメのねぐら観察 講師 日本野鳥の会 両角英晴 参加者 2 名
- (7) 8月10日(日) コケの観察会 講師 北八ヶ岳コケの会 台風 11 号接近で中止
- (8) 8月24日(日) キノコ観察会 講師 菌類懇話会 小山明人 参加者 16 名
- (9) 9月23日(火・祝) タカの渡り観察会 講師 日本野鳥の会 両角英晴 参加者 7 名
- (10) 9月23日(火・祝) コケの観察会 講師 北八ヶ岳コケの会 参加者 12 名
- (11) 10月12日(日) キノコ同定会 講師 菌類懇話会 小山明人 参加者 10 名
- (12) 12月21日(日) 探鳥会(守矢史料館周辺) 講師 日本野鳥の会 両角英晴 参加者 3 名
- (13) 2月1日(日) 探鳥会(上川・諏訪湖周辺) 講師 日本野鳥の会 両角英晴 参加者 2 名

4 星空観察会 年間 24 回計画(毎月 2 回土曜の宵)

晴天で実施できたのは 13 回 参加者 延 76 名

5 歴史観察会

- (1) 6月14日(土) こて絵見学会 講師 朝倉 清 参加者 9 名
- (2) 10月5日(日) 上原を歩く 講師 館職員 柳川英司 台風 18 号接近中止

6 古文書関係事業

- (1) 古文書解説講座 全 8 回 講師 館職員 柳川英司 参加者 延 140 名
- (2) 古文書研究会 全 12 回 講師 館職員 柳川英司 参加者 延 101 名
- (3) 古文書相談会 年間 10 回 講師 館職員 柳川英司 参加者 延 12 名

7 裂き織でランチョンマット

毎月第 2 土・日の午前午後 48 回、9 月と 3 月の平日 4 回計画 講師 ねじばなの会
参加者 延 203 名

8 講座

(1) 夏休み子ども教室

- ① 8月3日(日) 星空教室 講師 館職員 若宮崇令 参加者9名
- ② 8月5日(火) ネイチャークラフト 講師 小山京子 参加者13名
- ③ 8月6日(水) 糸電話で自由研究 講師 館職員 若宮崇令 参加者9名
- ④ 8月7日(木) 変わった万華鏡を作ろう 講師 市民研究員実験工作G 参加者28名
- ⑤ 8月8日(金) ゴムワンカーレース 講師 市民研究員実験工作G 参加者33名
- ⑥ 8月9日(土) 裂き織りでランチョンマット 講師 ねじ花の会 参加者8名
- ⑦ 8月10日(日) 裂き織りでランチョンマット 講師 ねじ花の会 参加者10名

(2) 月食関連

- ① 10月4日(土) 皆既月食の観察の仕方講習会 講師 館職員 若宮崇令 参加者13名
- ② 10月8日(水) 皆既月食の観察 講師 館職員 若宮崇令 参加者30名

(3) ロビー体験

- ① 12月13日(土) しめ飾り作り 講師 平沢 治 参加者10名

(4) 子ども科学クラブ 全13回 年度初めに募集した25名が1年間継続学習

<内容>開講式、講演 星の世界、野鳥観察、水生昆虫学習Ⅰ、水生昆虫学習Ⅱ、植物観察、地層観察Ⅰ、キノコの世界、地層観察Ⅱ、星の世界、動物観察、電気の基礎、電気と磁石、野鳥観察、閉講式

<講師>野沢進之輔、茅野靖男、小松正夫、浜 篤、小池春夫、小山明人、橘田利幸、若宮崇令
参加者 延347名

(5) 子ども実験工作クラブ 全12回 年度初めに募集した25名が1年間継続学習

<内容>ゴム動力1、紙工作1、動く船、わくわくどきどき科学実験、発電機、モーター工作、万華鏡工作、模型工作2、紙工作2、リングキャッチ、飛行機はなぜ飛ぶか、ロケット作りと発射

<講師>木村正弘・市民研究員実験工作G、両角紀子・東海大3高科学部、河村 洋
参加者 延286名

9 市民研究員の活動

今年度は以下の活動を通して9名、市民研究員に認定した。

(1) 植物グループ 指導者 名取 陽、岩波 均、白鳥保美、武居三男

活動内容 八ヶ岳山麓の植物相について学習 参加者 延108名

(2) 陸水グループ 指導者 花里孝幸、君島 祥

活動内容 水田のミジンコ調査から水田の水中の生態を明らかにする 参加者 延25名

(3) 野鳥グループ 指導者 両角英晴

活動内容 野鳥観察会、ポイントセンサス調査、ラインセンサス調査で野鳥についての学習と消長を調べた。 参加者 延7名

(4) 菌類グループ 指導者 小山明人

活動内容 野外での観察調査学習と室内での学習を通してキノコ相を調べながら学習を深めた。 参加者 延123名

(5) 実験工作グループ 指導者 木村正弘

活動内容 毎月1回の研究学習会と博物館が主催する実験工作に関する事業の指導者をつとめながら理論と実践に強い実験名人を目指した。 参加者 延 144 名

10 出張事業

項目	月日	出張先	内容	出張者
講師	7月23日	泉野小学校	星の話と土星観望	若宮 25
講師	7月26日	諏訪東京理科大	星の話と土星観望(夢合宿)	若宮 86
星空観察	9月2日	永明小学校	星の話と星座、月面観望	若宮 105
講師	8月31日	市民館周辺	M活性化ワークショップ	柳川 10
講師	9月17日	前宮本宮周辺	史跡観察学習会(森林文化の会)	柳川 11
講師	11月16日	守矢史料館→高部→上社	上社、諏訪神社関係史跡、遺跡および古墳の見学案内	柳川 11
星空観察	11月26日	金沢小学校	星の話と星座、月面、二重星等	若宮 28
星空観察	11月28日	北部中学校	星の話と双眼鏡、天体望遠鏡を使った月面観察	若宮、小林 23(両角)
講師	1月31日	今井書店特設会場	ふるさと文化を語り継ぐ会「茅野市文化財の現状と課題」	柳川 70

11 収蔵庫お披露目会

6月7日(土)、8日(日)に公開した。 見学者 70 名

12 その他

(1) 11月6日(木) 草の根交流ねじばな研修会

ねじばなと日本民家園民技会とのボランティア交流 参加者 18 名

(2) 5月22日(木)、23日(金) 北部中学校体験学習性受け入れ 2名

(3) 9月2日(火)～9日(火) 博物館学芸員実習生受け入れ 2名

帝京大学 小山夏美、浅沼睦志

(4) ミュージアム活性化事業に協力

7月31日(木) ワークショップ、10月25日(土) ミュージアムピクニック、

11月13日(木) ミュージアムコンシェルジュ講座

寄贈・寄託資料

寄贈・寄託年月日	受入種別	寄贈・寄託者	寄贈・寄託品名	数量
平成26年4月22日	寄贈	竹村靖夫	雛人形 等	32
平成26年5月17日	寄贈	検校庵 鈴木恵道	こて絵	1
平成26年6月20日	寄贈	風間 進	五月人形 等	7
平成27年1月28日	寄贈	神澤みどり	キジ・ヤマドリ剥製	各1
平成27年1月22日	寄贈	加納 清	スケート研ぎ・木桶	各1
平成27年3月20日	寄贈	ヒムロ社 丸茂伊一	土屋文明著『万葉集私注』筑摩書房刊 斎藤茂吉著『斎藤茂吉全集』岩波書店刊	10 30



5月31日 矢沢将利氏・下平悟氏「こて絵ワークショップ」



8月17日 鶴沢美穂子氏「コケテラリウム作り」



4月26日 澤村泰彦氏「市民参加平塚市博物館の例」



5月25日 岡野勇二氏「つなぐ（ものをつなぐ 人をつなぐ）」



8月3日 樋口正信氏「コケの世界」



9月28日 若宮崇令氏「仮面の女神の見た星空」



10月4日 吉田ゆり子氏「江戸時代の農村文書」



10月5日 君島祥氏「諏訪湖の生態系」



10月26日 両角英晴氏「野鳥学習会」



11月22日 岩波均氏「植物の形態について」



12月6日 名取陽氏「植物の生態について」



2月14日 白鳥保美「八ヶ岳の植物相」



3月29日 佐藤幹哉「幻の流星群を追う」



4月13日 探鳥会



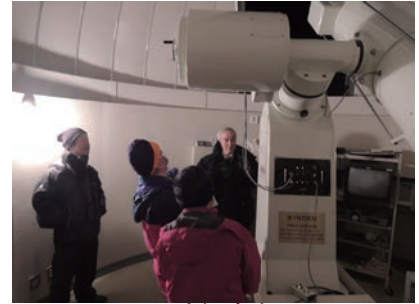
7月19日 霧ヶ峰の自然観察会



自然観察会 8月10日 コケの観察会



自然観察会 10月12日 キノコ同定会



星空観察会



6月14日 朝倉清氏「こて絵見学会」



古文書解読講座



夏休み子供教室 8月6日 糸電話で自由研究



夏休み子供教室 8月8日 ゴムワーカーレース



12月13日 しこども科学クラブ ゴムワーカーレース



9月 地層観察Ⅰ



こども科学クラブ 11月1日 地層観察Ⅱ



こども実検工作クラブ 5月17日 紙飛行機



こども実検工作クラブ 7月19日 ポンポン船



11月22日 研究創意工夫展授賞式



収蔵庫お披露目